

# 試験栽培

日本の早い所では雪が降ったというニュースを聞きました。こちらカンボジアでも少し涼しくなり、朝は肌寒さを感じたりします。雨も降らなくなる時期なので、東南アジアに観光に来られるなら今が一番いい時期だと思われまます。

今月はスーパーソルガムと根菜類・果菜類の試験栽培を始めたので、そのご報告をさせていただきます。

## ① スーパーソルガム

スーパーソルガムは草丈が5mにもなる大変大きなものです。茎の形などはトウモロコシに似ています。この茎の中に糖分が多く含まれており、この糖分からバイオエタノールを取ることができます。今後も原油価格は高騰し、バイオエタノールの需要は高まると考えられています。スーパーソルガムを試験栽培し、1haで年間100t収穫できるようであれば実用化も夢ではないとのこと。現在、農場内で土が比較的良い圃場と悪い圃場で試験栽培をしています。大きくなる作物ということはそれだけ養分も必要なので、肥料として鶏糞の散布を行いました。今後も継続して管理・観察を行い、年間100t目指していきたいと思ひます。

## ② 生姜・里芋・さつまいも

10月にワタミ手づくりマーチャングダイジング(株)門司社長と(有)ワタミファーム磯野社長にSAJ Farmを視察していただき、この土地と気候に合った作物として挙げられたのが生姜・里芋・さつまいもでした。生姜・里芋は雨季の温度と水のある時期に良さそうで、さつまいもは乾季の土に水が溜まらない時期に良さそうだと考えています。今は乾季の為、水を保つためにマルチをして栽培をしています。マルチなどあるのだろうかと思ったのですが、プノンペンでマルチを見つけ、少し感動しました。生姜と里芋は出芽までに時間がかかるので、大丈夫か心配になっていたのですが、最近、出芽してきました。さつまいもは比較的順調に生長できており、今後が非常に楽しみです。生姜はカンボジアでは香辛料というよりは野菜の1つとして料理に大量に入っていたりします。正直、日本人が食べるのは厳しいのですが、カンボジアの人は当然のように食



スーパーソルガム。播種して1カ月経ちました。まだ10cmにもならないくらいです。これが半年で大きいものだと4~5mにもなります。



里芋。植えて一カ月経ち、ようやく芽が出てきました。生姜の芽も最近出てきました。収穫はどちらも5、6月頃の予定です。

べています。プノンペン市場には生姜を専門に取り扱っている業者の方もおり、カンボジア国内でも需要はありそうです。また、生姜は日本での需要もあり、最近是中国産の生姜が安定して供給されなくなっているらしいので、加工して日本への販売も狙えるかもしれません。里芋は水が大好きな作物なので、雨季にはある程度作れるのではないかと思います。また、里芋は土壌の悪い物質を体内に吸収するため、土をきれいにする効果があり、土づくりを行うのに適した作物です。カンボジアの市場にも生姜と同じくらいの価格で売られており、市場に持っていけば販売することができそうです。さつまいもは SAJ Farm のあるコンポンチュナン州でさかんに作られています。農場近くの国道を通っていると、生のさつまいもや蒸したさつまいもを販売している露店が見受けられます。さかんに作られている為、高く売れるものではありませんが、収量は水稻よりも多い為、お米よりも収益を得ることは出来るのではないかと考えています。また、さつまいもは豚の餌にもなる為、今後さつまいもの作付けを増やすようであれば養豚をやってみてもいいかもしれないと考えています。



果菜類は育苗を行っています。休み時間など、スタッフも様子を見るのはいいのですが、皆が水をやろうとするので水をやりすぎないように注意しています。

### ③ ナス・トマト・ピーマン・トウガラシなど果菜類

上記の野菜はナス科に属しています。ナス科はカルシウムの多い土壌を好みます。SAJ Farm の土はカルシウムが多く含まれている為、ナス科の作物の栽培に適しているだろうということで試験栽培を開始しました。8月に少しだけ植えたものがあり、それは花を咲かせて実をつけようとしています。順調に育てることが出来そうなので、今度は数を増やそうと考え、今は苗を育てています。苗を作業場の近くで育てているのですが、現地スタッフも気になるようでよく苗を観察しています。野菜に興味を持つことは大変重要なので、良い試みであったと感じます。実がつくようになれば毎日近くの市場に持っていきこうと考えています。

①②③と色々試験栽培を始めた背景として、水稻だと農家さんの食糧にはなるが、お金にならないこと。レモングラスも大量に消費するのは難しい物であることが挙げられます。また、11月に行った講習会で農家さんに作ってみたいものを伺ったところ、大根と人参というご回答を頂いたので、講習会で作ってみようと思います。にんにくの栽培も開始します。今後は上記の作物の中から収益性の高い物を選び、それに特化して農場での栽培や講習会を行っていけるように体制を作っていければと思います。また、作ることが出来れば販売の話もできるかと思います。より高く販売することが出来ればスタッフの雇用にも繋がり、地元の農家さんの為にもなると思います。多品目を栽培するという事はそれだけやるべきことが増えるということです。農業ではやるべき時にやるべきことが出来るかどうか非常に重要です。計画を立て、日々計画的に作業を行い、試験栽培を成功させたいと思います。

## 編集後記

最近、カンボジアに日本食料理屋がかなり増えています。お陰で、休みの日にプノンペンに行くと何を食べようか悩んでしまいます。農場でも管理人さんの料理をおいしくいただいています。しかし、健康管理にも気を配らないといけません。気がつけばもう12月。新年は少しはすっきりした体形で迎えたいものです。

早藤